

広報 八 月 号

主な目次

- 55総体漕艇選手権大会終る……………2ページ
- 夏の夜空に七色の花……………3ページ
- 細菌性食中毒の予防……………3ページ
- チェコスロバキアの農業政策…4～5ページ
- 肱川町議会報告……………6～7ページ
- お知らせ……………8ページ



8月号

開会式に花を添えた鼓笛隊 55総体漕艇選手権大会終る

昭和五五年度全国高等学校総合体育大会漕艇競技が、八月一日から五日まで鹿野川湖において行われました。
一日の午後二時四五分からは、鼓笛隊の先導で選手が町内パレードを行いました。
午後三時から始まった開会式には、四一都道府県から九三校、一四二クルーの選手、役員およそ一、三〇〇人が参加しました。
選手入場後、町内の小学生四年生以上一八〇人で編成した鼓笛隊が、「55」の人文字を作る等歓迎演技を行い開会式に花を添えました。
開会式では、塩野谷副大会長が開会宣言、つづいて国旗、高

体連旗、大会旗、町旗などの掲揚、前年度優勝の滋賀県立長浜農業高校（男子ナックル）他三校より、優勝旗、優勝杯が返環されました。
続いて佐々木大会長のあいさつがあり、大野町長と大洲高校三年露成和子さんが地元を代表して歓迎の言葉を述べました。
最後に選手を代表して県立宇和島東高校主将山下武久君が、力強く選手宣誓をして開会式を終わりました。
二日からレースが始まり、日頃の練習成果を競いましたが、全般的に東日本勢の活躍が目立ちました。
地元愛媛県勢は、準々決勝、

準決勝で姿を消し、今年も上位入賞がなりませんでした。
三日の午後からは雨に見まわれましたが、レースは雨の中で予定通り行われ、五日の閉会式も肱川中学校体育館で行われました。
今大会は風こそありませんでしたが、降り続いた雨で青く澄んでいた湖水も黄色く濁り、またダムも放流するなど四六総体を思い起こす大会となりました。



好評を得た小学生鼓笛隊演技(開会式)



地元を代表して歓迎の言葉を述べる大野町長

昭和55年度 全国高等学校総合体育大会 第28回 全国高等学校漕艇選手権大会 入賞クルー名簿

種目	順位	優勝	準優勝	3位	4位	5位	6位
男子 ナックル フォア		福井県立 美方高等学校 3分41秒8	千葉県立 岬高等学校 3分44秒8	滋賀県立 瀬田工業高等学校 3分51秒3	福島県立 川口高等学校 3分43秒9	岩手県立 山田高等学校 3分47秒4	青森県立 むつ工業高等学校 3分48秒4
女子 ナックル フォア		滋賀県立 長浜農業高等学校 4分6秒8	福井県立 美方高等学校 4分14秒6	福島県立 喜多方女子高等学校 4分21秒4	岩手県立 山田高等学校 4分15秒6	長野県立 岡谷東高等学校 4分24秒3	島根県立 江津工業高等学校 4分28秒2
シエル フォア		滋賀県立 瀬田工業高等学校 3分22秒6	岐阜県立 八百津高等学校 3分25秒7	岩手県立 宮古高等学校 3分27秒6	長野県立 岡谷南高等学校 3分29秒0	兵庫県私立 柳学園高等学校 3分29秒4	青森県立 青森高等学校 3分33秒5
シングル スカル		長野県立 岡谷南高等学校 小口 弘晃 3分44秒9	千葉県立 岬高等学校 魚地 利明 3分45秒7	神奈川県立 津久井高等学校 工藤 晴三 3分49秒4	長崎県立 大村園芸高等学校 田峰 務 3分51秒8	福島県立 耶麻農業高等学校 加藤 征進 3分53秒6	岩手県立 黒沢尻工業高等学校 昆 文夫 3分54秒2



レース前に艇を調整する選手たち



選手・観覧者の休憩所になった遊歩道

夏の夜空に七色の花

鹿野川夏まつり

今年の鹿野川夏まつりは、全国高校総体の前夜祭として、七月三十一日に行われる予定でしたが、天候の都合により延期され例年行われている八月七日に実施されました。

しかし、当日も小雨がばらつき、役員、関係者をヤキモキさせました。

歩行者天国にした下鹿野川商店街では、ビックリ市、農産物販売、花木の展示即売などが行われましたが、なかでもたこ焼の評判がよく、一日中お客がたえませんでした。

午後からオープンしたスリラー館にも、子供たちがつめかけにぎわいました。



夏まつりのフィナーレを飾る花火

食中毒は、原因物質から細菌性(サルモネラ、ブドウ球菌、腸炎ビブリオなど)、化学物質(食品添加物、工業毒)、自然食(フグ、キノコなど)に分けられますが、圧倒的に多いのは細菌性のもので、なかでもこれからの季節は腸炎ビブリオによるものが多い。予防のポイント

◎新鮮な食品を用いることが大切なのは当然ですが、腸炎ビブリオは魚の表面について急速に

増殖するので、新鮮な魚でも生で食べると食中毒をおこすことがあります。

六、一〇月には、なるべく魚や貝の生食をさけるのが安全です。

もし食べるなら、真水で十分すぎるほど洗ってください。

魚を調理したまな板やほうちようから、二次的にほかの食品や食器をよごし、食中毒をおこすことがあります。

調理器具もよく洗って清潔を

細菌性食中毒の予防

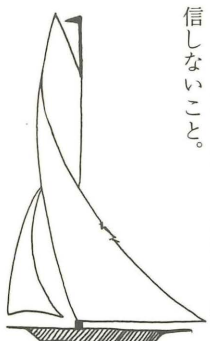
一口医学

- 釜まつりコンクール入賞者
- 弁天娘賞 金森 勝
- 天の羽衣賞 八重商店
- 夕 鶴賞 和気マサ

- アイデア賞 へサ和気商店
- 牽 牛賞 鹿野川センター
- 織 姫賞 鹿野川主婦の店
- 冠 賞 シスター美容室



三つたよかったの判断



心がかましよう。

◎サルモネラ菌による食中毒は、患者や保菌者の排泄物から食物に混入しておこるばかりでなく、ネズミ、ゴキブリによる食物汚染が原因になることもあります。

これらの駆除は、手軽に薬にたよるだけでなく、住まいを清潔にするという基本的な衛生知識を忘れないこと。

◎人間の鼻咽腔や化膿した傷にいたるブドウ球菌による食中毒は、つばやウミから食物に混入しておこります。

この菌は調理程度の加熱では死滅しないので、火を通したからと安心してはいられません。

古くなった食物は食べないほうがぶんです。

調理の前には、よく手を洗うこととともに手に傷のある人は調理しないことも大切です。

◎調理した食品は早く食べるにこしたことはありませんが、保存するときは冷蔵庫に入れます。

五度以下の冷蔵庫の中では、短時間ならば細菌はほとんど増えませんが。

ただ、冷蔵庫に食品をつめこんだり、扉をひんばんに開けると庫内の温度が高まります。

その点に注意し、冷蔵庫を過信しないこと。

集音マイク

- 「昔はこがいなもので田畑をやっておつたんじやがノー」なんて資料がゾクゾク展示されるであろう農業資料館、大駄場に建設。
- ② 農業資料館入札
- ③ 起工式
- 異常低温と合せて異常な長雨で地山もゆるみっぱなし、あちこちで山崩統発。災害発生件数はうなぎ登り。
- ④ 危険カ所総点検町内巡視
- まちかねた夏休み、海へ山へ、みんなで一諸に楽しく過して二学期にそなえよう。
- ⑤ 小・中学校、一学期終業式
- 「成功させよう55総体」を合言葉にすべての準備を終り、後は選手をまつばかり、実行委員会役員で最後の打合せを行なう。
- ⑥ 55総体実行委員会
- 「米は作るなど言うし、大豆じゃないと補助金は少ないし」しかし歩いて見ると脇川も広いなア。
- ⑦ 水田転作確認調査
- 「自分等の道じゃもの、自分等の川じゃもの、自分等のできれいにせにヤア」朝早くから河川、道路の整備ごころうさまでした。
- ⑧ 環境美化デー

欧州諸国の農業事情視察報告

①

チエコスロバキアの農業政策

このレポートは、去る五月二日から六月九日までの九日間、日本農村振興協会が主催したヨーロッパ諸国における農村振興対策事情調査団の一員として参加した、町農林課長補佐宮田章の報告書をもとに今月から数回にわたり紹介するものであり、欧州諸国の農業事情の実態を知る上での参考資料としていただきたい。

低地から山岳まで

四つの農業地帯区分

一、自然条件

チエコスロバキアは、一九一八年第一次大戦後の旧オーストリア、ハンガリー帝国の崩壊後ボヘミア、モラビア、スロバキア地方を合併し独立した国で、一九六九年からチエコ共和国とスロバキア共和国の連邦制国家



となつてゐる。

チエコ地方は、戦前から一定の工業発展を遂げ（鉄鋼、機械、兵器、機関車など）また、それらの工業都市をそなえ、さらに西欧への輸出向けの農業生産の発展もみられた。

戦後は、農業改革、それに引続く集団農業への再編の中で、両地方の経済格差の是正、工業力を背景にした集約性の高い農業の育成、農産物の自給率の向上などの農業面における課題を追求することになる。

農業資源としては、七、〇四三千ヘクタールの農地面積（内耕地面積四、九四三千ヘクタール）と九十九万人の恒常的労働者で、一、四七〇万人の総人口を養つてゐる。

農業者一人当たり農地面積七・一ヘクタール、扶養人口一四・八人の割合であり、集約性、



視察に参加した
宮田章課長補佐

労働生産性の高い農業が必要とされた。

気象条件は、海洋性気候と大陸性気候の両方の影響を受け、大西洋からの南西風が冬の寒さを緩和すると共に、大陸性気候の影響で夏の平均気温が上昇し、全体としてその位置に比し作物の育成に比較的良好な条件を与えているといえる。

また雨量の全国平均は、年六八八ミリであるが、その三分の二は春から夏にかけて降り、作物の育成を促進する。

しかし西部ボヘミア、南モラビアの山岳地域の周辺の一部は「雨の影」と呼ばれ、降水量が不足することがしばしば起こる。

全国的にも春から夏の降雨量に作物が大きな影響を受け干ばつの被害をこうむることもある。チエコスロバキアでは自然条件と農業条件を考慮して、戦前から通例四つの農業地帯基本区分が使用されている。

この区分は農業税、補助金の

算定基準としても重要な要素となつてゐる。

【1】 トウモロコシ育成地帯
(全農地の二一%)

海拔二〇〇メートル以下の低地にみられ、大陸性型の暖かい乾燥した気候で、年平均降雨量は五〇〇ミリ以上六〇〇ミリ以下を越えず、年平均気温は九度C以上となる。

土壌は大部分が黒土、褐色土、沖積土である。

この地帯は温帯性作物、トウモロコシ、野菜、ある程度までのでん菜に適する。

土壌のタイプと深度により、さらに次のように分類されている。

- ① トウモロコシライ麦地帯
- ② トウモロコシ大麥地帯
- ③ トウモロコシ小麦地帯

【2】 てん菜育成地帯
(全農地の二一・四%)

おおよそ海拔三五〇メートルの起伏のある平野、丘陵地帯にみられ、平均気温八・九度Cとチエコスロバキアではかなり暖かい気候であるが、降雨量は六〇〇ミリ以下といくぶん少ない。

土壌は褐色土、黒土、さらにポドソルの一部分を含む。

この地帯はてん菜、小麦、大麦、チコリ、野菜、果実、さらには特定地域でのホップ栽培に適している。

【3】 ばれいしよ育成地帯
(全農地の五〇・六%)

海拔五〇〇〜七〇〇メートルまでの高地にあり、年平均気温六・五度C、年降雨量八〇〇ミリ以上である。土壌はポドソルで大部分は森林である。

ばれいしよ、穀物、飼料作物（特にこの地帯では農業所得の七五%が畜産といわれている）などが栽培される。

四五〇メートルまでは穀物の適地で、低い方では小麦、大麦、高くなるにつれて砂質土が多くなり、ライ麦、エン麦、ばれいしよ向きとなる。

【4】 山岳農業地帯
(全体の二一・八%)

海拔六〇〇メートル以上の地帯で、年平均気温六度C、年降雨量八〇〇ミリ以上、土壌はポドソルである。



大型トラクター(能力は低い)

このトウモロコシ育成地帯は、具体的には南東モラビア、南部および南東スロバキアにみられる。

この地帯の四五％は森林、二〇％は永久牧草地であり、耕地は一〇％のみである。

ばれいしよ、ライ麦、エン麦、亜麻、牧草、牛や羊の飼料などがみられる。

低い農業の成長率 労働力が急激に減少

二、農業生産の動向

戦後のチェコスロバキアの農業動向は(第1表)、戦前対比で国民所得が四・六倍、工業生産が九倍程に増加しているのに対して、農業生産は一・四倍とその成長率が低いことが特徴的である。

しかも一九六〇年代の後半になって、ようやく総生産で戦前水準に迫いつき、六〇年代後半から一九七四年までは農業生産が(特に畜産中心)顕著に増加している。

第1表 チェコスロバキア戦後の経済成長

	国民所得	工業生産	農業粗生産			農業労働者1人粗生産	農地1ha粗生産
			総生産	作物	畜産物		
1948	97	108	73	78	67	108	76
1950	117	143	86	-	-	-	-
1955	173	243	92	91	92	156	98
1960	243	403	100	94	106	224	106
1965	268	520	97	80	116	252	105
1970	373	722	122	104	143	341	135
1973	438	879	137	118	160	425	152
1974	462	935	141	120	164	437	156

(注) 国民所得工業生産1937=100としたときの指数
農業については、1936=100としたときの指数
(1967年価格で計算)

農業生産の中心は

集団化農業

三、農業政策

現在のチェコスロバキアの農業構造は第2表のとおりである。

農業生産の中心は、国营農場と農業生産協同組合であり、個人農は集団化できない山岳地域などにスロバキア地方に多く、その労働力も高令化、女性化して

第2表 農業構造(1974年)

	恒常的農業労働者数(千人)	農地面積(千ha)	農地面積(%)	農産物生産割合(%)	商品生産割合(%)
計	990	100	7042	100	100.0
国営部門	252	25.5	2122	30.1	29.0
内国営農場	165	16.7	-	-	-
農業生産協同組合(自留地)	679	68.6	4163	59.1	62.8
個人農	59	6.0	219	3.1	3.5
			471	6.7	4.7

ここ数年急激に減少しており、農業生産の七六％、商品生産の九二％は社会化部門(国营部門と協同組合部門)で占められている。

農業協同組合員の自留地経営と個人農経営は、農業生産の一四％となるが、自給生産率も高く、商品生産割合は八〇程度となる。これらの小規模生産は小家畜、野菜、果樹などに一定の役割を果たしている。

国营農場は、社会主義農業のモデル、実験農場となるように位置づけられ、実際優先的に国家投資を受けるなどしたが、立地条件の悪いものも多くモデルの役割を果たしたものは少なかった。この集団化政策は、一九四九年からはじまった国の第一次五カ年計画と重なり、重工業優先政策の中で、農業生産は相対的に軽視された形となった。

しかし一九五三年にはこの性急すぎた集団化政策が反省され、国全体から見た農・工業の調整

政策が三カ年実施され、農産物価格の引上げ、供出割当の減少などが行われた。

高齢化社会に歯止め 若い技能労働者養成に努力

四、農業労働力―課題

一九七五年現在、農業労働力は一〇〇万人を割っており、終戦後二・三〇万人の農民がいたことから、この三〇年近くで二分の一以下にまで減少したことがわかる。この減少の中で、高齢化、女性化など農業労働力の劣弱化が大きな問題となった。

現在、年齢構成は平均四四才であるが、ここ数年の動きの中で、年齢構成の高令化が止まりつつあり、三〇才以下の若年労働力は二二％を占めるに至っている。これは農工間の所得格差の減

少、農村の相対的な事情の良さ、自動車の普及など農村の生活環境が改善されつつあり、とくに若い労働者は技能労働者として、当初から良い報酬が得られる条件があることなどの事情が背景にあるためと思われる。

農業労働者の質の向上に関しては、今後さらに農業労働力が減少することが予想される中で若い技能労働者を養成することが大きな課題となっている。

近代的農業経営の拡大とともに、かつての農民とは異なる専門化した技能労働者が農民の中心を占めるようになってきており、現在六〇〜七〇％近くの農民が何らかの技能資格を有しており、今後ともこの比率が高まっていくものと思われる。

またチェコスロバキアでは女性労働者の約五〇％を担っており、とくに畜産でその割合が高いのが特徴的であるがその質の向上も大きな課題である。

(注) チェコスロバキアの農業教育はよく整備されているところである。初等義務教育(九年制)終了後、中等教育機関として農業訓練センター、四年制の中等農業技術学校、さらに高等教育機関として農業大学五年制がある。



チェコスロバキア農林省で説明を受ける調査団

新農構事業で

大駄場へ農業資料館を建設

六月定例町議会

肱川町の六月定例町議会は、衆参同時選挙などの関係で、七月四日に会期一日間で開かれ、町長発議の議案五件、議員発議の請願一件、議案一件を、原案どおり可決、採択されました。

なお、行政事務に対しての一般質問は、二人の議員が七項目について行い、町長がこれに答えました。

一般質問のあらまし

○町職員退職勧奨の今後の措置について

人事の刷新と事務の円滑化をはかるため、昨年度共稼ぎ職員の退職勧奨を行い、これに応じた者、応じなかった者があると聞いている。その折勧奨の方法にあまりない点があったように一般の声もあるが、今後も勧奨を考えているのか。

また、将来においても共稼ぎの問題は起きてくる可能性はある。これを未然に防ぐ方策として、職員採用の時に、何らかの条件を付ける措置はできないものか。

答 昨年度共稼ぎ職員の退職勧奨をしたが、今後においても共稼ぎをなくし、少しでも町民に就職の門戸を開きたい気持ちにはない。

しかし、現時点では勧奨をす

る考えはない。昨年度の勧奨の際も摩擦や誤解もあり、いずれにしても難しい問題で苦労もしたが、結果的には予期した成果は挙がらなかった。

なお、採用時に共稼ぎを禁ずるような条件を付けることは、基本的人権、差別的禁止、就業の自由など法の精神から言いつつ適切でなく、その措置をとるつもりはない。

○臨時職員について

臨時職員が多いように思うが、財政面から職員の定数をふやさずに臨時職員でやっていくつもりか。私はこのことには異論はない。

一方雇われている側としては、長期に亘っての臨時職員では仕事に対する意欲の問題、年金など将来に大きな影響が起きる場合もあるし、また、勤務する部署によっては、臨時職員ではいけないところもあるのでは

ないか。

現在の臨時職員の数、雇用条件はどうなっているのか。

答 現在臨時職員は、保健婦一人、教育委員会関係四人、各種事業の推進事務など四人である。

ただ財政のみを考えてこのようにしている訳ではないが、採用の目的が違っているし、すでに年金受給者もおり一律にはいれない。職務の内容、その他いろいろな事情もあって、それらの雇用をしている。指摘のあった部署については、近い将来正式職員を当てることにする。

○町有地取得に関連することについて

町が先に取得した土地は、未墾地買取であった由、間接的に聞いたところでは、元の地主は、町が買取るとき一言相談をして欲しかったと思っておられるようである。この地主は土地

も多く所有されているし、若し感情を悪くされると、これから町が進める事業に支障をきたす恐れもある。町長は、この点どのように考えられるか。

答 元の地主の方には、町としては平素大変お世話になつていて。そのようなことがあつたら詳しく事情を説明して解を求めたい。私は今までも、すべての問題に誠意をもつて対応してあり、今後とも協力をお願いするようをお願いをしていくつもりである。

○農林団体との連携について

町政懇話会が定期に開かれているが、ある団体長の個人的な話では、余り効果が挙がっていない感じがする。その理由は町が提出する報告事項が多くて、本当に腹を割ったトップの話ができないとのこと。



優良材生産について研究する林研グループ(小田町視察)

事務的なものは、各団体の幹部職員と役場の課長連中で、別に会議をもち論議をし懇親を深めていけばよいし、その意味で町政懇話会の在り方を検討すべきではないか。

答 各団体との連絡提携をはかる組織として、町政懇話会、農業対策会議、これに関連する幹事会や技術者部会を設けている。町政懇話会は年四回開いているトップの会で、意志疎通をはかることを主目的にしている。

事務的に流れ過ぎると言われたが、必要な報告はやむを得ないし、出席された方がいろいろな角度から考え、この会を生かして貰いたい。

職員間では、幹事会、技術者部会があり、連携はとっていると思つてはいる。意見のことは今後参考にしたい。

○森林総合整備事業に関連して技術者の雇用について

最近自然保護確保の上からも森林のもつ公共性と、林業の重要性は見直されているが、木材価格の低迷、労働収益の低さから、林業に対する意欲が薄れていることも事実である。

当町では、来年度から森林総合整備事業が予定され、先に森林組合が地区別に説明会を開いて、自分の山の手入れにしても賃金が貰えるキャッチフレーズもあって、林業に取り組む姿勢が少し変わっている。

現在林業グループが試みている特殊材、優良材生産など、小規模経営のところでは、集約的林業への転換は必要ではないか。

小田町では、県外から磨き丸太の職人を雇い指導を受けた結果、歴史のある久万林業を追い越したとも聞いている。

当町においても、専門技術者の徹底した指導を受ければ、脇川銘木の実現も夢ではないと思うがどうか。

答 森林組合では、脇川の森林をよくするために、森林総合整備事業など目下鋭意計画策定中である。

組合としては、従来から林業の振興に対しては強力に推進をはかり、専門技術者のことは、組合において検討されているし、あくまでも組合中心でやるべきで、町としては、その態勢作りには応援をしていくつもりである。

○素材加工施設の設置について
問 林業の振興をはかり、立派な木を育てても、素材でそのまま販売するのは芸が無さすぎる。

森林組合は、植林の指導から中間における間伐材や最後の素材を有利に販売できる加工施設を持つのが本筋と考えるが、法的な問題もあつたり、また大勢雇用していると、暇なときもあつて、その時は買取りなど商

行為をやらざるを得ない。そのことは組合としては出来難いと思う。

そこで、森林組合が中心となって、系統の資金を活用し、農協や町も出資を行い、別会社の素材加工施設を作れば、林家の所得は増大し、町長の公約した町内での仕事もふえてくる。

できることなら町が指導をして、素材加工施設を設置してはどうか。

答 意見には同感である。誰しも身近方にある素材を利用して企業活動をやり、収益を挙げる事業を起すことを考えている。

森林組合でも、その方向で検討されているようである。

ただ問題になる点は、資源があるとはいえず、事業としてやる場合予定の数量が計画的に確保できて、その事業が成り立つか、いろいろな立場から考える必要がある。

○次期町長選挙について

問 町民の関心は、衆参同日選挙が終つて、次の町長選挙に移っている。現町長の立候補の噂もあるが、町長はまだ真意を明らかにされていない。

やはり早い時期に明確にしておいて、次の仕事に取り組まれるのがよいと理解をしている。このことについて、真意の程をはつきりと伺いたい。

答 私任期は来年二月で、かなりの時間があると思つてい

る。

余り早くからエキサイトするよつな状況にならない配慮をする役割が私にあると考えているので、本日は答えるのを差し控えたい。ただ、私も一期目であつて、町民各位のご協力をいだけいて、仕事は順調に進展していると思つているので、そういうことを考えられ、ご判断をお願いしたい。いづれ適当な時期に意志を表明するつもりである。

町長行政報告の

あらまし

○六月一八日豪雨による災害状況について

住宅うら山 一件 二百万円
農地 四件 百九十万円、農道一件 百万円、合計 六件 四百九十万円の被害額である。

○六月二八日電(ヒヨウ)による被害状況について
葉たばこ、桑、蚕舎損壊、きゅうり、ふき等に、千百一五万九千円の被害を受けた。

○七月一日豪雨による災害状況について

農業関係 二一件 三千三百万円、土木関係 二四件 四千九百三十三万円 合計 四五件 八千二百三十三万円の被害を受けた。

災害復旧については、県と協議中で、全力を挙げて取り組んでいる。また、農業関係の救済措置することにした。

○中山間田畑再編(ヘン)調査について

中四国農政局管内で当町のみが指定を受け、田畑の再編をどのように進めるか、その指標、営農形態、経営など各般の計画策定を国が行うものである。将来は小土地利用合理化調査事業に結びつけたいと考えている。

議決、採択した議案の

あらまし

○過疎地域振興計画の策定
法律に基づくもので、当町の振興計画を樹て、昭和六〇年までの五カ年間の諸事業の策定をしたもの。

○工事請負契約の締結
農村地域農業構造改善事業農業資料館新築工事で、大駄場へ新設するもの。契約金額七千二百二十万円、契約の相手方は当町の脇川建設である。

○昭和五五年度一般会計補正予算

二千四万二千円を追加して、予算総額は、一億一千七百二十五万八千円となった。補正の主なもの、幼稚園整備費四百三十五万円、高校総体体育大会費、学校給食センター繰出金など。

○昭和五五年度学校給食センター特別会計補正予算

五百七十七万二千円を追加して、予算総額四千二百七十七万二千円となった。

補正の主なもの、食器消毒保管庫、コンテナ、焼物機などの設備整備費である。

○請願 食糧自給の向上、

米穀政策の確立、本年産米の政府買入価格に関するもの
脇川農協長から請願のあつたもの、産業常任委員が紹介議員となつて処理した。

○意見書 靖国神社公式参拝

に関するもの
遺族会などから要請があり、文教厚生常任委員が提出者となつて処理した。



豪雨による災害(小畑井部落)

国勢調査にご協力を

一〇月一日は国勢調査の日

今年の一〇月一日には、全国いっせいに国勢調査が実施されます。

国勢調査は国のもつとも大規模な、かつ、人口に関する基本的な統計調査で、大正九年に第一回調査が実施されて以来五年ごとに行われており、今回の調査は第一三回目にあたっています。

一、調査の目的

国勢調査は、全国、都道府県、市区町村別の人口や世帯数、男女別・年令別・産業別等の人口構成や家族類型別等の世帯構成などを明らかにして、国はもとろん都道府県・市区町村の地域社会に直結する行政に役立つ基本的な資料を得るために行われるものです。

人の動き

人口	4,010人	前月比 (+1)
男	1,985人	(+2)
女	2,025人	(-1)
世帯数	1,097戸	(-1)
7月中動	(出生1死亡2転出8)	転出10

(昭和55年7月31日現在)

我が国の人口については、かなり以前から、①人口の都市集中に伴う過密過疎の問題 ②人口の老齢化、③世帯の細分化な

どが問題とされてきましたが、更に基本的な問題として、狭い国土、乏しい資源などからみて総人口が今後どのように推移するかが長期的な観点から注目されています。

これに関連してここ数年我が国の出生率は著しく低下しており、人口趨勢上一つの転期を迎えようとしています。

このような問題も国勢調査の結果によって明らかにされます。

二、調査の対象

調査の対象は現在、我が国に常住する人をふだん住んでいるところで世帯ごとに調査します。今回の調査では、全国で約一億一、八〇〇万人、約三、六〇〇万世帯が調査の対象になる見込みです。

三、調査の事項

(世帯員について)

- ①氏名 ②男女の別 ③世帯主との続き柄 ④配偶者の有無
 - ⑤出生の年月 ⑥国籍 ⑦現住居に入居した時期 ⑧前住地
 - ⑨教育 ⑩仕事をしたかどうかの別 ⑪従業地または通学地の別
 - ⑫従業地・通学地までの利用交通手段 ⑬勤めか自営かの別
 - ⑭所属の事業所の名称及び事業の種類 ⑮本人の仕事の種類
- (世帯について)
- ⑯世帯の種類 ⑰世帯人員

- ⑱家計の収入の種類 ⑲住居の種類
- ⑳居室数 ㉑居室の室数 ㉒住宅の建て方

四、調査員

肱川町では二十七人の方々に調査員をお願いしており、九月二日から一〇月五日の間にみなさんの家庭へお伺いします。ご協力をお願いいたします。

国勢調査人口	
(10月1日現在)	
昭和25年	10,264人
30年	7,319人
35年	6,446人
40年	5,433人
45年	4,588人
50年	4,190人

アイデア貯金箱

募集中心

郵政省では、小・中学生のみなさんを対象に第六回「私のアイデア貯金箱」コンクールを行っています。

小・中学生のみなさん、アイデアにとんだ楽しい貯金箱を次の要領により多数出品してください。

- ▽応募資格 小学生、中学生
- ▽応募作品 未発表のもので、大きさは一辺の長さが二五センチメートル以内のもの。材料は自由です。
- ▽応募方法 作品には氏名、学校名、学年を書いて学校へ出してください。
- ▽出品の締切り 九月一三日
- ▽審査方法 小学校低学年(一〜三年)、高学年(四〜六年)、中学校の各部門ごと

に審査します。

▽審査発表 五年一〇月

▽賞 金賞、銀賞、銅賞の

ほか応募者全員に記念品が贈られます。

栄典

故池田萬千雄氏に

従六位の特旨

昭和五五年四月一日死去された肱川町名譽町民・元肱川町長故池田萬千雄氏に四月一日付で従六位の特旨があり、七月二日県知事より位記が遺族に伝達されました。

表彰

富永廣さん

観光事業功労で

上鹿野川の富永廣さん(八三才)は、長年にわたり丸山公園を整備して一般に解放され、また各種観光行事にも積極的に協力された功績により、六月二日に高松市で開かれた日本観光協会四国支部総会において、日本観光協会々長荒木茂久三氏より観光事業功労者として表彰を受けられました。

◇心配ごと相談◇

“お気軽に相談所へ”

◎相談時間

各相談日とも9時~16時

◎相談場所

町公民館心配ごと相談室(肱川町社会福祉協議会)

相談日	担当相談員
8月25日	谷本、佐久保
9月5日	山中、宮本
9月16日	都谷、藏田
9月25日	戒野、森本

相談員の自宅相談も受けけます

○妊婦検診

とき 九月三日

ところ 肱川町公民館

○乳児健康相談

とき 九月一七日

ところ 肱川町公民館

お誕生おめでとう
ございます

瓜生谷 上川良一さん

二男 広志ちゃん

ごめいぶくを
お祈りいたします

中 津 亀田 義光さん

(56才)

上鹿野川 宮本イマヨさん

(81才)